

平成29年度 事務事業評価シート

事務事業名	交通等バリアフリーの推進				所管	都市づくり部 地区整備課		
	行政計画	事業NO.	83	計画事業名	バリアフリーの推進			
事務事業の概要	長期総合計画体系	[基本目標] II-1. 個性を活かしたまちづくりの推進 [小 柱] (2) 快適で利用しやすいまちづくり [施 策] ②だれもが利用しやすいまちづくり				事業の開始・終了年度 [事業開始] 平成14年度 [終了予定] - 年度		
	根拠法令等	その他	[法令等名]	高齢者・障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律				
	事業対象	高齢者、障害者及び施設利用者等						
	事業目的	台東区バリアフリー基本構想に基づき、高齢者や障害のある方等の移動の円滑化を促進する。						
	事業内容	バリアフリー協議会（関係事業者、住民、高齢者、障害者等で構成）の検討を経て策定した基本構想に基づき、各事業者による特定事業計画の事業を実施することにより、重点整備地区内のバリアフリー化を促進していく。 特定事業計画の進捗管理を実施し、事業の進捗状況を確認するとともに、必要に応じて計画の見直しを行う。						
	委託の有無	一部委託	委託内容	バリアフリーマップ維持管理				
	補助金の有無	なし						
	事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (30年度)	26年度	27年度	28年度
		活動指標	基本構想策定済み地区数	(地区)	1	1	1	1
			バリアフリー協議会等開催数	(回)	3	1	4	2
成果指標		公共交通特定事業の進捗率	(%)	83.0	46.3	55.7	63.3	
		車椅子の自立移動可能な鉄道駅数	(駅)	21	20	21	21	
決算額		(単位：千円)			1,879	685	3,068	
事務事業コスト (単位：千円)		人にかかるコスト（人件費など）			14,452	14,436	16,942	
		物にかかるコスト（物件費・維持補修費）			1,841	653	3,030	
		その他のコスト（扶助費・補助費など）			38	32	38	
		総経費			16,331	15,121	20,010	
財源項目 (単位：千円)	受益者負担額（使用料・手数料・負担金など）			0	0	0		
	その他特定財源（国や都の支出金・財産収入など）			0	0	0		
	一般財源（区負担額）			16,331	15,121	20,010		
前回評価から改善した事項	各事業者による特定事業計画の進捗管理に加え、特定事業により整備された箇所について、高齢者・障害者団体の代表者等が点検・意見交換を行うワークショップを開催し、今後の事業実施への一助とした。							
評価の視点	評価	評価の理由						
	必要性	3	2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向け、バリアフリー化の重要度は高まっており、整備を推進していくことが引き続き求められている。					
	効率性	3	基本構想の推進に係る連絡調整を行うための場として協議会を開催することにより、関係機関及び利用者間の協議・調整や、合意形成の円滑化・効率的な運営を行っている。					
	手段の適切性	3	事業実施までの期間にわたる継続的な進行管理が必要となるが、公共交通、道路、都市公園、建築物、交通安全など事業内容が多く、整備箇所によっては中・長期的な研究継続が必要になることから、時に業務委託も活用しながらバリアフリーを推進していく必要がある。					
	目的達成度	3	行政計画事業である公共交通特定事業の進捗率の28年度実績は目標値を若干下回っている。年度ごとの目標値を確実に達成できるよう、事業者にも努力を促していく必要がある。					
[評価の理由]（区民生活への影響を十分考慮すること）				評価結果	今後の方向性	維持 拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		
バリアフリー基本構想に基づき、特定事業計画に定めた特定事業の継続的な進行管理が必要となる。今後は、バリアフリー化の内容が特定事業計画の整備方針に沿って適切に行われているか、また、予定された期間内に着実に実施されているかなどを把握し進捗管理を行っていく必要がある。								